

ららら♪クラシックコンサート

Vol.13

「美しい日本の歌 歌い継ぐ音楽のこゝろ」

～童謡・唱歌・愛唱歌・日本歌曲の美しさを識る～

2022年7月21日(木) 東京芸術劇場 コンサートホール

歌: 錦織健 小林沙羅 藤木大地 ヴィタリ・ユシュマノフ 工藤和真 山田姉妹

ピアノ: 加羽沢美濃 山岸茂人 司会: 高橋克典 金子奈緒

童謡が生まれるきっかけとなったのは、1918年7月に出版された児童文芸雑誌『赤い鳥』でした。以来100年以上にわたり多くの童謡が生まれ、その歴史を育んできました。その間、社会環境が大きく変わる中、変わらざるものへの憧憬が童謡の心に歌い継がれてきました。今回のコンサートでは、子どもの頃に聞いた懐かしい歌から日本歌曲と呼ばれる流麗なる旋律の楽曲、そしてスタンダードなJ-POPをお送りいたします。「赤とんぼ」や「かなりや」を始め、錦織健による名曲「さくらさくら」やカウンターテナー・藤木大地による「秋桜」、心に残る名曲「川の流れるように」。スペシャルコーナーとして、母への思いを綴った短い詩を高橋克典が朗読します。お楽しみください。

Program

《さくらさくら》 詞・曲: 作者不詳

～箏の手習い曲として江戸時代に作られた日本の古謡・歌曲～

歌: 錦織健 ピアノ: 山岸茂人

《赤とんぼ》 詞: 三木露風 曲: 山田耕筰

～1927年 日本を代表する童謡～

歌: 小林沙羅 ピアノ: 加羽沢美濃

《初恋》 詞: 石川啄木 曲: 越谷達之助

～1938年 原詩は詩集「一握の砂」、越谷がソプラノ歌手三浦環に捧げた楽曲～

歌: 小林沙羅 ピアノ: 加羽沢美濃

《荒城の月》 詞: 土井晩翠 曲: 滝廉太郎

～1901年 七五調の歌詞と西洋音楽のメロディーが融合された日本歌曲～

歌: 工藤和真 ピアノ: 山岸茂人

《平城山》 詞: 北見志保子 曲: 平井康三郎

～1935年 いにしへの奈良の都に想いを重ねた唱歌～

歌: ヴィタリ・ユシュマノフ ピアノ: 山岸茂人

《かなりや》 詞: 西條八十 曲: 成田為三

～1919年(作曲) 日本で初めて歌われた童謡～

歌: 山田姉妹 ピアノ: 加羽沢美濃

《星めぐりの歌》 詞・曲: 宮沢賢治

～2020年 東京オリンピック閉会式でも歌われた曲～

歌: 藤木大地 ピアノ: 加羽沢美濃

《蘇州夜曲》 詞: 西條八十 曲: 服部良一

～1940年 李香蘭こと山口淑子が歌った映画《支那の夜》の劇中歌～

歌: 錦織健 ピアノ: 山岸茂人

《日日草》 詞: 星野富弘 曲: 加羽沢美濃

～1980年 星野富弘の花の詩画集“日日草”に加羽沢美濃が曲をつける～

歌: 錦織健 ピアノ: 加羽沢美濃

—休憩—

《夏の思い出》 詩: 江間章子 曲: 中田喜直

《浜辺の歌》 詩: 林古溪 曲: 成田為三

～代表的な童謡・唱歌より1949年「夏の思い出」1916年「浜辺の歌」～

歌: 山田姉妹 ピアノ: 加羽沢美濃

《この道》 詞: 北原白秋 曲: 山田耕筰

～1926年の『赤い鳥』に発表された北原白秋の詩に曲をつけた唱歌～

歌: 工藤和真 ピアノ: 山岸茂人

《愛燦燦》 詞・曲: 小椋佳

～1986年 美空ひばりの代表曲～

歌: ヴィタリ・ユシュマノフ ピアノ: 山岸茂人

《小さな空》 詞・曲: 武満徹 編曲: 轟千尋

～現代音楽作曲家・武満徹が作詞も手がけ合唱曲などでも歌い継がれている～

歌: 小林沙羅 ピアノ: 加羽沢美濃

《川の流れるように》 詞: 秋元康 曲: 見岳章

編曲: 加羽沢美濃

～1989年 美空ひばりの代表曲～

歌: 小林沙羅 ピアノ: 加羽沢美濃

《風が吹いている》 詞・曲: 水野良樹

～2012年 NHKロンドンオリンピック・パラリンピック・放送テーマソング～

歌: 錦織健 ピアノ: 山岸茂人

《秋桜》 詞・曲: さだまさし

～1977年 山口百恵の代表曲～

歌: 藤木大地 ピアノ: 加羽沢美濃

《いのちの歌》 詞: Miyabi 曲: 村松崇継

編曲: 高木啓江

～2008年度下半期NHK連続テレビ小説「だんだん」の劇中歌～

歌: 藤木大地 ピアノ: 加羽沢美濃

※上記は変更になる場合がございます。